

昭和55年9月15日

District 260 R.I. Governor **IKUZO KITANO**

524 Agata-machi, Nagano-shi, 380, JAPAN. Phone: 0262-35-1015

No.4

国際ロータリー第260地区 ガバナー 北野 幾造 〒380 長野市県町 524 北野建設株式会社内 Phone: 0262-35-1015

R.I. 第260地区内 ロータリークラブ会長・幹事殿

TAKE TIME TO SERVE

時間を捧げよう
奉仕のために

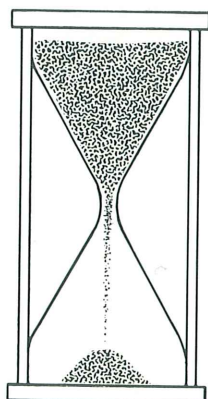
青少年活動週間を活用しよう

■“各ロータリアンは青少年の模範”

川瀬ガバナースレター最終第14信によると、昨年度当 260 地区84クラブ5,356名の年間平均出席率は97.52%であった。またロータリー財団寄付達成率平均3,300%。これらの数字でみるかぎり本地区ロータリー活動は全国的にも国際的にも誇りうるレベルを示しているといっても過言ではないのです。しかしインターアクト、ローターアクトのクラブ数においては最も低い状態に低迷しています。そのために私は地区の重点事業の一つに青少年奉仕活動を取りあげ、各クラブにそれらの結成をよびかけています。まだ2ヶ月余しか経過していませんが現在のところ殊更に動きが変ってきた様子もなく依然として慣習はつづいているように思います。青少年活動週間（9月14日～20日の週間）は丁度よい機会ですので、見たりきいたりしてインターアクト、ローターアクト両クラブについて調査研究だけでもはじめていただきたいのです。国際ロータリー・クラリッヒ会長は「若い人達のために奉仕する活動を始動させ、刷新させ、その努力を更新する特別な週間として、青少年活動週間の実施をお願いいたします。貴地域社会、ひいては全世界の青少年のため“時間を捧げよう、奉仕のために”の計画に乗り出して下さい。私達が今日の青少年への奉仕を怠るならば明日を担う彼等の成功如何に大きな影響をおよぼすことになるのです。よろしく願い申し上げます。」というメッセージを發表されました。

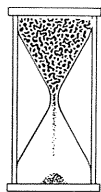
この青少年活動週間を実施する方法にはいろいろあります。①上記インターアクト、ローターアクト両クラブを結成する計画に着手する。②若い人たちに職業に関する知識を授けることを目的とした「処世協議会」の開催を予定する。③地元でロータリー青少年指導者養成プログラムを実施する。④地元地域社会の優秀な若者を、青年功績賞を贈って表彰する。⑤若い人たちのニーズをはっきりとつかむための調査を行う。⑥青少年に各種の職場を見学させる。⑦若い人たちと意見を交換したり、お互いに共通のニーズを探究したりするためクラブ例会プログラムに若い人たちを参加させる。

この週間を機に各クラブの一層活発なる活動をお願いいたします。



ガバナー 北野 幾造

10月12日～18日の 職業奉仕(理解) 週間によせて



職業奉仕はロータリーの金看板であり、他の団体には見られない奉仕の分野であります。ロータリーの綱領の中には「……職業を通じて社会に奉仕する……」という一文がしるされており、「職業を尊重し、その品位と道徳的水準を高める」よう各ロータリアンに要請されています。今年度国際ロータリーのクラリッヒ会長は「職業奉仕とは、能力の限りを尽くし、かつ最高水準の道徳的行動によって貴君の仕事の責任を果たすために時間を捧げることであります。」とメッセージの中で述べられました。

一方、職業奉仕は、個人が行なうものでクラブにはできません。ロータリークラブは職業を持たないからです。従って、クラブの職業奉仕委員会では、会員に職業奉仕をしてもらうためのプログラムを用意し、かつ会員の実践状況を把握することが求めら

れます。

委員会が用意するプログラム

①四つのテストの普及②職業奉仕フォーラム③職業別協議会④職場訪問⑤〇〇業服務基準あるいは実務基準⑥職業情報と職業指導⑦職業教育振興⑧職業奉仕事例研究⑨職業奉仕採点と表彰⑩市場管理（消費者、労働者、同業者、下請者等）⑪職場の人間関係管理⑫職場の地域関係管理 以上のほかにも数多くのプログラムを準備することができます。しかし、考え方、精神訓話のみでは具体性に欠けるので、地域関係管理について若干しるします。前述のように職業奉仕は「職業を通じてコミュニティに奉仕する」わけですので、職業とコミュニティとの係わりを考えてみたいのです。

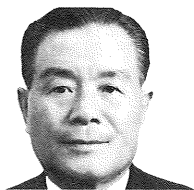
第一段階として、コミュニティに迷惑をかけない。第二段階として、コミュニティに最少限の協力をする。第三段階として、コミュニティに積極的に協力をする。一般に言われる公害対策、ゴミ廃棄物の処理、省資源・省エネ、更には社会的諸費用、社会監査等に至るまで、まず職業上果すべき責任の履行を取り上げるのです。個々のロータリアンは、自分の職業、職場において、この意味の総点検を始めることから職業奉仕に着手してはと提案する次第です。

ガバナー 北野 幾造

職業奉仕委員会本年度方針について

地区職業奉仕委員長

田辺 三郎



まず、当委員会は第一の条件として、クラブ委員会と常に意志の疎通を計っていくことが必要です。これは去る6月の刈谷での地区協議会の部会でも指摘されました。勿論、ガバナースレターへも当委員会の運営概要は、その都度掲載されますが、尚一層の徹底を期するため、本年は年二回位、委員会報を出して周知徹底を計りたいと考えます。

地区の特色として毎年行ってきた職業別会議を今年は長野県を中心に実施したいと思います。その第一回を本年11月22日(土)辰野クラブをホストとして、辰野市において醸造（みそ、醤油、酒）関係の会議を開催する予定になっています。地区の該当業種の会員には、できるだけ参加していただくよう呼びかけます。来年に入り光学、精密機械、観光、木材などの中から一つ選んで5月頃の実施したい。(職業別委員会)

次に職業奉仕週間が今年も10月15日を含む週間に行われます。この期間中に改めて自己ならびにク

ラブの職業奉仕についての活動を見直して、クラブ毎に何かしらの行事を行って頂きます。その為に8月中旬に職業奉仕についてのアンケートを行い、その結果をクラブ宛に流します。(職場例会、職場見学、従業員の例会への招待、優良従業員、工夫考察優秀者の講演等) その他他地区で実施された事例を適宜取材してお知らせします。また長野地区大会の部門別協議会がこの週間の直前にありますので、その際再確認することができますと思います。(処世情報委員会)

職業奉仕として何をやっているか、職業奉仕委員会は何をやればよいか—これこそ自己の職業奉仕は日常の業務を忠実に、四つの職業奉仕に照らしてやっていたらそれで充分です。各クラブ内の委員会では、委員長が会員個々の職業奉仕の実情を取り上げてこれをクラブ全体に広げる、これは実業人と専門職業人とありますから一概には言えませんが基本は一つです。私も50年の実業人生活からいろいろの業務をロータリーの四つの奉仕に結び付けて、自分の考えをまとめて一冊としたいと考えています。

以上が今年の地区職業奉仕委員会の方針ですが地区大会、地区協議会と職業奉仕委員長の集まる機会がありますので全地区の職業奉仕委員長会議は開かない予定です。

年次大会ニュース

善光寺お上人さまのご法話

—ご家族プログラム—



10月4日午後2時から5時のあいだ、大会にご出席のご家族の皆さまのために、特別のプログラムが組まれております。

秋の陽光に映える善光寺金堂にご案内し、次いで善光寺大本願において、善光寺上人一条智光さまのお話を、身近かに親しく承ることになっております。ご法話のあとは、赤いりんごが実る善光寺背後の山裾をご案内して、善光寺平の秋を楽しんでいただく予定です。

どうぞ、ふるってご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

松平新R.I.理事出席

10月4～5日開催予定の今年度第260地区年次大会に、1980～82年度国際ロータリー新理事松平一郎君（東京日本橋）が出席されます。

また現在のところ、向笠前R.I.理事、柏原孫左衛門R.I.在日財務代行者、赤木諫夫ロータリー文庫委員長など多数の方々が参加されます。

地区大会に参加されるR.I.新理事は、アジア第1ゾーン（日本の250地区から259地区、275と279地区をふくめた12地区）選出のR.I.理事として、1980～1982年の2年間にわたり、その活躍が期待されています。



1980～82年度R.I.理事 松平 一郎君

略歴： 明治40年11月15日生。昭和9年東大卒業後、横浜正金銀行入行、米国加州東京銀行会長、東京銀行会長などを歴任、現在同行相談役。

ロータリー歴： 昭和40年東京日本橋R.C.入会、地区ガバナー、ロータリー財団管理委員、1978年東京国際大会委員会副委員長などを歴任。

拡大カウンセラー委員会について

地区拡大カウンセラー 委員長 森 泰樹



R.I. は従来からロータリーの拡大に大変力を入れてきた。1978年度は世界中に540の新クラブを結成し、昨年はボーマー会長の強力なテコ入れで620クラブが誕生した。この10年間毎年488の新クラブが出来たことになる。

これに力を得てR.I.では「拡大カウンセラー委員会」なるものを設置した。その第一回の会合が去る7月7日EVANSTONで開かれ、ひきつづいて世界中24の地区でこの拡大カウンセラー委員会が開かれた。日本に関しては、東半球部長のPaul Bernholdt氏が7つの地区を受持ち、最終の目的地を東京とし、去る7月26日、日本の全地区から委員長を集め、講習を行った。

新設された拡大カウンセラー委員会の任務は凡そ次の様なものである。

◎拡大は従来地区拡大委員会の手で行われて来たが、これからはこの拡大カウンセラーの手に移行し、来年度より完全実施する。

◎ガバナーは地区に精通した3名からなる委員会を作る。委員は毎年1名ずつ交替してゆくものとする。

◎地区拡大の最終責任者はガバナーであるが、委員会に拡大の調査・進行を委嘱し、その都度報告をうける。

◎新クラブの結成に当って、ガバナーから特別代表が任命されれば、この委員会は特別代表と連絡をとり、その仕事をチェックし、その状況をガバナーに報告する。

◎拡大に際してはスポンサークラブを援助し結成申請書がガバナーに提出される前にチェックする。

大体以上の様なものであるが、今度新クラブ結成の手續が大変簡素化された。

◎その第一は従来Extension Survey（拡大調査報告）に40以上の異なる業種があるのを列記する必要があったのが、今後は、列記せずとも特別代表がそれを認知すればよいことになった。

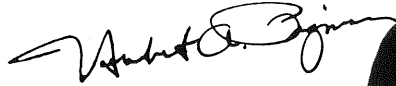
◎次にApproval of Organization（結成の承認）はその地域の地図と共に、これまでR.I.に保管されていたが、今後これをガバナーを通じ、拡大委員会が保有し、ここでチェック出来ることになった。

また、R.I.において結成を承認するのは、米国在任の理事に権限を任せてあったが、今後は事務総長に権限が委譲された。従って、事務処理がスピードアップされて、全般的にすっきりとした方向に改善された。

FROM THE GENERAL
SECRETARY'S LETTER

R. I. 事 務 総 長 書 翰

(7～8月・月信抜粋)


ハーバートA.ピグマン



拝啓 今年には384名の地区ガバナーが、全世界で活躍されていますが、R.I.事務局職員一同と共に、80年代を迎えたロータリーの躍進をリードするクラリッヒ会長及び各地クラブのために最善の努力を致すつもりです。

時間はすべての人に平等に与えられている貴重な宝であり、時間を有意義に活用することは個人の責任です。クラリッヒ会長はこの貴重な財産の一部を、ロータリーに捧げることを求めています。TAKE TIME TO SERVEは単なる美辞麗句ではなく、助けを求める人のために捧げる時間は、ロータリアン自身の人生と生活に予期せぬ転機をもたらすことを会長は信じて疑いません。

ロータリーの目的は生活の質的向上、地域社会の改良、職業モラルの高揚を通じて、世界平和に寄与することにあります。ロータリアン各位の貴重な時間の投資こそ、ロータリー運動を向上させる最高の原動力であると思います。

△ △ △

意義ある業績賞の表彰手続

8月迄に同委員をガバナーが任命、委員会を編成する。各クラブは11月1日迄に活動資料を同委員会に提出する(月信別項参照)。資料を受理した委員会は、12月1日迄に本賞受賞候補を選定し、ガバナーに答申する。R.I.はガバナーにより選ばれた成績優秀なクラブに、証明書を贈り、これを表彰します。

△ △ △

各地区の財団寄付百分比順位算出方法改正

7月からR財団への寄付パーセンテージ順位の算出方法が変りました。新計算方法は、地区の累計寄付額を同地区1979年12月現在会員数で割って求めます。この方法による各地区の最初のパーセンテージ順位は、1980年7月1日付で決定します。

当該年度中の累計寄付額が会員1人当り米貨

10ドルに到達すると、地区パーセンテージは次の順位に上昇します。いいかえれば、会員1人当りの平均寄付額が10ドルの倍数に達するたびに、順位がひとつ上昇することになります。

△ △ △

ロータリー財団からのお知らせ

☆79～80年度内のR財団への寄付は、前年比7.4%増、1640万ドルに達しました。また同年度内に12,178名がポール・ハリス・フェローとなり、10,563名が準フェローを得ました。

☆そろそろ本年度R財団奨学生候補を各クラブが考慮を始める時期ですが、(1)各地区は少くとも1名が“奨学金”を受領する権利を有し、地区の寄付成績によっては、最高9名までの追加が可能です。(2)それとは別に、身障者教師奨学金1名、ジャーナリズム奨学金1名、職業奨学金1名の候補者を推薦することができます。(3)クラブ推薦候補者の申請書類受理締切は、81年4月1日、各ガバナー宛。事務総長が地区推薦候補者の申請書類を受理する期限は、81年5月15日ですので、お忘れなく。

△ △ △

3-Hプロジェクトの3年延長について

80年R.I.規定審議会には、123議題が上程され、うち28件が原案通り可決採択、18件が一部修正のうえ可決、残る77件が取下げまたは否決されました。

決議案80—120について

(1)本議案はR.I.創立75周年記念基金として創設され、保健・飢餓追放・人間性尊重——3-Hプロジェクトに限定して支出され、R財団の一般資金(基金)の一部となっていました。今後3年間これを継続してゆくことを決めた内容ですが、R財団一般資金からも、その一部を追加支出することを決めたものです。

☆ ☆ ☆

(2)ロータリアンの中には、従来、奨学金、研究

グループ交換補助金、特別補助金を支出していたR財団一般基金が、3-Hプロジェクトへの一部支出によって、本来の奨学金プログラムに、影響をこうむるのではないかと心配をもつ会員があるようですが、その心配はありません。

3-Hプロジェクトは、82年7月以降3年間に限り、毎年150万米ドルを限度として合計450万米ドルの支出をしようというものです。要するに決議案80—120は、現行の財団活動を減殺するものではないのです。因みに上記150万米ドルは、82～83年度から84～85年度の3年間に全財団活動費として認められている総額6,950万米ドルの6.5%に担当するのみです。

△ △ △

(3)80年度規定審議会の可決議題のすべては、既に全クラブ幹事あてに送達されていますので、クラブ幹事はクラブの議決を得たうえ、反対の場合にはその旨をR.I.へ返答して下さい。

(注)本項は260地区幹事が事務総長月信を要約書き改めたものです。

サンパウロ国際大会へどうぞ

1981年R.I.国際協議会は、81年5月19日～27日米国フロリダ州ボカ・ラトーンで、国際大会は同年5月31日～6月3日ブラジル・サンパウロ市で開催されることは、ご存知の通りです。

なお82年の国際協議会は5月28日～6月4日、国際大会は6月6日～10日を予定しています。

サンパウロ国際大会に先だち、外国ロータリ

アンは、シカゴ大会のときと同じように、ブラジル国内ロータリアン家庭への、ホーム・ステイが計画されています。サンパウロ大会プログラムと行事は、「友愛のカーニバル」と銘打たれており、多くのロータリアンは、R.I.史上2回目の南米での大会に、大きな興味と関心を持っていますし、期待は必ず報われると思います。

△ △ △

R.I.新公式名簿発刊

80～81年度版R.I.公式名簿は、8月中旬にクラブ幹事あてに郵送されます。追加分は一部につき3.5米ドルで購入できます。

青少年活動週間に関して

今年度青少年活動週間は9月14日～20日ですが、この週間中、各クラブは各々の地域社会において、青少年の育成を援助することを再確認して下さい。特にローター・アクト及びインター・アクトのクラブ結成に努力をしていただきたく存じます。

△ △ △

ロータリーの現況

80年8月1日現在、ロータリーは154の国々に於いて、18,837のクラブを有し、約871,000名の会員を持っております。

△ △ △

では、今年一年各クラブ、ロータリアン各位のTAKE TIME TO SERVEへのご健闘を祈ります。

SUMMARY OF R.I. BOARD OF DIRECTORS

R.I.理事会抄録

1. 先般の理事会決定により、R.I.中央事務局の支局を、東京、シドニー（オーストラリア）、サンパウロ（ブラジル）に開設する手続を進めることを事務総長は指示。（既報）

クラブ幹事さんご注意下さい

2. クラブ例会出席率の報告手続を簡易化

各クラブ幹事は、**メークアップ・カードの提出を待たずに、毎月最終例会後、ただちに、会員数と出席率報告をガバナー宛に送付する。**

3. R.I.プログラムの追加として、このたび国際理解のためのロータリー賞が新たに制定されます。本プログラム指針は近日中に印刷物として各クラブへ配布される。

4. ロータリー財団管理委員として、上野豊氏が任命された。任期は80年7月～82年6月までの2年。委員長は元R.I.会長E. インバサイ・デ・メロ（ブラジル）。

5. R.I.理事会は各クラブの内部充実強化を目的として、各クラブ区域限界内のすべての職業を網羅するような、バランスのとれた会員組織をつくるために、職業分類表の再点検と、積極的な会員増強をはかることを推奨。

6. 立法案の作成と提出手続の詳細を記したリーフレットを企画・製作する。このリーフレットは、注文に応じて各クラブや地区へ送付する。またR.I.定款細則委員会は、要請があれば、法案を規定審議会へ上程する前に、制定案・決議案の起草校正字句修正などにつき、クラブ及び地区を補佐する。また可決された決議案・制定案を、公式雑誌に転載することを認めた。

7. 従来認められていた“名誉ガバナー”の称号賦与は、政府の代表者、王室、地区内の特別に代表的な人物のみに限って授与できることに変更された。

意義ある業績賞に参加して下さい

Let's take part in the "Significant Achievement Award"

本年度も当地区内における優秀な奉仕活動を表彰する**意義ある業績賞**プログラムを行なうことになり、その選考委員並びに要項が決まりましたので、ぜひ奮ってご参加ください。

●意義ある業績賞選考委員

委員長 川瀬 保バストガバナー
委員 森 泰樹バストガバナー
" 田辺三郎バストガバナー
" 北野幾造ガバナー

●申込み締切 1979年11月1日

●申込み先 地区ガバナー事務所内
意義ある業績賞選考委員会 宛

●選考基準 (R.I. 理事会において採択された基準)

1. 事業は、その地域の地域社会において、——ただしその地域社会だけに限らず——誰の目からも重要と見られている問題を対象にするものでなければならない。それは、例えば、環境、老人援護、国際理解の増進、身体障害者への援助等の事業が考えられる。
2. 事業は単なる金銭的な奉仕ではなくて、クラブ会員が直接参加するものでなければならない。
3. 事業は他のロータリークラブにも刺激を与え、模範となるようなものでなければならない。
4. 事業は当該ロータリー年度に始められたものであることを要しないが、その事業が現に継続実施中のものであること、もしくは、その表彰が行われる当該ロータリー年度に完了予定のものであることを立証する証拠が提出されなければならない。
5. いかなる場合でも同一事業について同じクラブが重ねて業績の認証を受けることはできない。

豊橋R.C.創立30周年記念式典

豊橋R.C.創立30周年記念式典は、来賓に松平R.I. 理事、竹田元R.I. 理事、北野Gはじめ多くのPG、加藤GN候補を迎え、去る8月3日、豊橋グランドホテルにて盛大に挙行された。

森泰樹実行委員長の開会の言葉に続き、物故会員28名に献華・黙禱、スライドにより30年の歩みを振り返り、30周年記念事業として豊橋美術館に「美術置物一式」を贈呈した。

北野G・安野PGの祝詞、松平R.I. 理事・竹田元R.I. 理事の記念スピーチの後、30周年を記念する多彩な式典を終えた。

豊橋R.C.では「30年史」の編纂にかかるとともに、このほど、米山記念奨学会「1,000万円達成クラブ」となった。



豊田西R.C.創立10周年記念式典

豊田西R.C.創立10周年を記念し、去る8月24日、豊田市内平安閣にて記念式典及び記念事業発表披露を行った。記念事業として、R財団への会員1名当り10ドルの拠出、並びに豊田市三好町内中・高校生を対象とした作文募集を行っ

た。「奉仕」をテーマとした作文募集には18校412点の応募があり、豊田市教委審査により、優秀作品8点に表彰状・記念品を授与、優秀校8校に助成金を寄贈した。

1982～83年度ガバナーノミニ 候補者の推薦

*The recommendation of the
candidate for 1982-83 Governor Nominee.*

地区内各クラブは、1982～83年度ガバナーノミニ候補者として地区ガバナー指名委員会の考慮に入れてほしい人があれば、地区ガバナー指名委員会委員長（地区ガバナー）へ提案して下さい。

その際は「決議報告書」用紙および「被提案候補者指名証明書」用紙をガバナー事務所に請求し、それを使用して下さい。

なお、地区ガバナーの資格条件については、国際ロータリー細則第13条5節(b)の(1)～(7)の条件をみたまふものであることを要します。

(78年版手続要覧291～292頁参照)

また、地区ガバナー指名委員会が、地区ガバナーノミニ候補者の選択を行うにあたっては、その選択の範囲は地区内クラブによって提案された氏名に限定されるものではないということをご了承下さい。

(R.I. 細則第13条第5節(f)手続要覧293～295頁参照)

米山記念週間10月1日～7日

財団法人ロータリー米山記念奨学会は、日本全国のロータリアンとクラブが拠出する寄付金をもとにして、ロータリークラブのあるアジア各

国から来日中の私費留学生に対し、奨学金を授与し勉学を助ける国際的奨学事業財団です。

来る10月1日～7日は、米山記念週間です。米山奨学会へのご理解と、一層のご助力をお願いします。

第260地区 財団法人ロータリー米山記念奨学会寄付金納入明細表

List of Contributions to the Yoneyama Memorial Fund 昭和55年6月30日現在(単位：円)

クラブ名	年 額 1名当り	過去累計	クラブ名	年 額 1名当り	過去累計
あ ま	2,000	1,849,750	名 古 屋 中	2,000	2,371,000
渥 美	2,000	1,170,600	名 古 屋 北	2,000	5,180,350
安 城	2,000	1,470,700	名 古 屋 瑞 穂	1,500	100,000
尾 西	2,000	1,129,500	名 古 屋 南	2,000	2,963,000
蒲 郡	1,500	1,898,500	名 古 屋 東 南	2,000	1,467,850
白 馬	1,500	266,250	名 古 屋 西	2,000	3,980,950
半 田	1,500	1,452,700	名 古 屋 和 合	2,000	1,042,500
半 田		100,000	中 野	1,500	458,750
碧 南	1,500	1,493,750	西 尾	1,500	3,743,900
一 宮	1,500	3,382,664	西 春 日 井	2,000	1,556,671
一 宮	1,500	1,910,210	岡 谷	2,000	2,062,900
飯 田	1,500	1,962,900	岡 崎	1,500	4,279,800
飯 田	1,500	910,000	岡 崎 東	1,500	1,868,290
飯 島	2,000	738,200	岡 崎 南	1,500	3,587,650
伊 那	2,000	1,372,500	奥 三 河	1,500	808,250
稲 沢	2,000	1,834,450	大 町	1,500	1,316,773
犬 山	2,000	1,538,364	尾 張 旭	2,000	933,387
一 色	1,500	881,450	佐 久	1,500	893,000
岩 倉	2,000	374,000	瀬 戸	1,500	1,683,679
東 知 多	1,500	1,058,709	瀬 戸 北	1,500	180,250
富 士 見	1,000	545,250	新 城	2,000	645,950
刈 谷	1,500	1,348,000	塩 尻	1,500	118,750
軽 井 沢	3,000	1,106,250	須 坂	1,000	133,000
春 日 井	2,000	2,131,950	諏 訪	2,500	1,203,650
木 曾	1,500	788,500	高 浜	2,000	968,185
駒 ケ 根	1,500	1,506,050	田 原	1,500	1,019,300
小 牧	2,000	1,943,950	辰 野	1,500	1,578,400
小 諸	1,500	2,325,800	戸 倉 上 山 田	2,000	514,900
江 南	1,500	1,574,300	常 滑	2,000	1,851,950
丸 子	1,500	564,150	東 海	3,000	1,199,896
松 本	1,000	1,593,650	豊 橋	1,500	8,325,340
松 本 南	2,000	1,704,500	豊 橋 北	1,500	2,851,400
松 本 西 南	2,000	955,000	豊 橋 南	1,500	2,731,550
松 川	1,500	523,150	豊 川	1,500	1,271,500
南 佐 久	2,000	270,250	豊 田	1,500	1,749,400
箕 輪	1,500	246,250	豊 田 東		
長 野	3,000	1,734,400	豊 田 西	1,500	691,250
長 野 東	1,500	982,550	津 島	2,000	2,027,500
名 古 屋	2,000	5,450,900	上 田	1,500	1,192,600
名 古 屋 東	2,000	2,524,200	上 田 東	1,500	227,000
名 古 屋 名 東	2,000	520,000	年次大会事務局		500,000
名 古 屋 空 港	2,000	2,643,250	そ の 他		141,000
名 古 屋 港	2,000	3,034,750			
名 古 屋 守 山	3,000	2,051,300	計		136,285,018

付記:昭和55年7月1日以降の寄付金は含まれていませんので、地区大会に於ける米山功労クラブの表彰順位とは若干の食い違いが生じることがあります。

■地区諮問委員会・分区代理会議

今年度第2回地区諮問委員会は、8月23日(土)午前11時30分より、名鉄グランド・ホテルで開催された。尚本年度第1回分区代理会議が、8月22日(金)午後6時より、名古屋市内・河文で開かれた。

第2回地区諮問委員会

1. 今年度地区年次大会のR.I.会長代理として黒沢茂氏ご夫妻決定の件
2. (仮)登録現況報告の件
3. 80～81年度意義ある業績賞選考委員決定の件 委員長 川瀬直前G、委員 森・田辺PG 北野G
4. ロータリー研究会開催に関する件
(1)近藤PGを実行委員長とする。
(2)名古屋西クラブを主管ロータリークラブとする。
5. クラブ拡大現況報告
6. 次回委員会 10月3日15時と決定。
7. その他審議未了3件、次回再審議と決す。

第1回分区代理会議

1. 公式訪問への助力感謝、今後の協力依頼
2. I.G.F.の方式について
(1)部門別分割方式・一括合同会議方式いずれも可、各ホストクラブと協議の上、各分区代理の自由選択に一任
(2)部門別討論テーマ選定も分区代理の決定とする。
3. 各記念週間について
(1)記念行事・事業については各クラブ・各分区の任意
(2)各記念週間の存在を新入会員セミナー等で言及されたし
4. 10月3日18:00地区大におけるR.I.会長代理黒沢茂氏御夫妻歓迎晩さん会に出席要請(招待状既往)
5. (1)10月4日11:00部門別協議会リーダー・アドバイザー会議出席依頼
(2)10月4日13:30部門別協議会での健闘期待
6. 地区大本登録増強を各クラブに要請され、協力されたし

■クラブ奉仕委員長会議

- 日時 昭和55年7月28日
場所 名鉄グランドホテル
出席者 山田委員長、福田ロータリー情報・水野広報両委員長ほか委員5名
- 議事
1. 7月7日開催「新旧地区委員長会議」の報告
 2. 職業分類・ロータリー情報・広報の各委員会の本年度活動方針の討議
 3. その他

■職業奉仕委員会

- 日時 昭和55年7月30日
場所 名鉄グランドホテル
出席 田辺委員長、福与職業別会議・岩田処世情報小委員長ほか委員5名
- 議事
1. 本年度委員会方針
 2. 本年度職業別会議開催について
 3. 職業奉仕に関する各R.C.へのアンケート調査について
 4. 職業奉仕週間について
 5. その他

■国際奉仕委員長会議

- 日時 昭和55年8月5日
場所 ホテルニューナゴヤ
- 議事
1. 森泰樹委員長より要望
○地区内R.C.の国際奉仕委員長が、分区単位等で会合する場合は、地区委員会正副委員長のいずれかが必ず出席すること。
○地区国際奉仕小委員会の活動内容を各R.C.単位の活動として浸透させること。
○組合せ地区委員会にて各R.C.のクラブ提携活動状況を掌握すること。
 2. W.C.S.プロジェクトにつき各R.C.にP.R.するとともに、地区として積極的に参加すべく検討する。
 3. 世界親睦に関し、各R.C.へ一層のP.R.をする。
 4. 青少年交換に関する現状報告、並びに来年度以降の活動計画及び資金の検討。
 5. 各R.C.の現状調査に基づく対応の検討。
 6. その他

■地区青少年交換委員会から

去る8月7日～8日松本市浅間温泉ウエストン・ホテルに於いて、滝沢PG、小平・松沢両分区代理等の出席を得て、帰国学生7名、派遣学生9名、受入学生ジェーン・マヌス嬢(松本南C)を集め、渡航のオリエンテーション、日程確認、帰国生の体験発表等が、地区青少年交換委員会によって開催された。

1箇年の留学を終って帰国した学生諸君の自信に満ちた成長ぶりは、1年前の同じ諸君を知る地区委員にとっては、大きな驚きであり、かけがえのない喜びであったが、それと共に当委員会の任務の重要さと価値を改めて痛感した。

マール・バコルス(受入学生)の礼状

カナダからの来日前、全く日本語を知らなかった彼女は、帰国後の先般、立派な日本文の礼状を寄越した。1年の間にかかなりの漢字まで含めた日本文を書けるようになったとは驚き以外の何物でもない思いがする。

地区青少年交換委員長 加藤一三 記

■名古屋市内12R.C. 新入会員講習会

去る8月27日、名古屋市内12R.C.新入会員講習会が名古屋南R.C.の主幹により名古屋観光ホテルにて開催された。講師に浦野三男君、日比野安君、吉田清君、福山巧君、オブザーバーに尾張第一分区代理橋本義雄君を迎え、63名の新入会員が四大奉仕部門を中心に熱心に受講した。

おめでとうございます ポール・ハリス・フェロー New Paul Harris Fellows

7月25日 成毛 宏爾君(名古屋中) 安藤 重良君(名古屋)

堀尾 源吾君(名古屋) 山内 孝君(瀬戸)

加藤 晃君(瀬戸)

8月9日 荻村 政司君(木曽) 畑 好郎君(上田)

8月25日 村川 邦夫君(一宮)

8月29日 藤田 淳土君(あま)

8月30日 山川 幸男君(半田) 松尾 宗倫君(名古屋)

土屋 重信君(軽井沢) 三浦 秀文君(名古屋)

R.I. 在日財務代行者事務所より8月31日までにガバナー事務所に連絡いただいた方々。

10月公式訪問日程

Schedule of Official Visits in October

8日(木) 稲 沢 9日(木) 岡崎東 13日(月) 豊田西
14日(火) 高 浜 21日(火) 南 佐 久 23日(木) 名古屋瑞穂
24日(金) 一 宮 北 25日(土) 一 宮 27日(月) 駒ヶ根
29日(木) 飯 田 30日(木) 松 川 31日(金) 小 諸

トビックス

西尾R.C.会員タイ・パタヤ孤児院を親善訪問



去る7月12日、西尾R.C.会員6名が、国際奉仕活動の一環としてタイ国パタヤ孤児院を訪問。孤児を慰問するとともに、パタヤR.C.を通じ学用品及び現金1,000ドルを寄贈、あわせて当地区が昨年度世界社会奉仕活動の一つとして参加したW.C.S.プロジェクトNo.1264(パタヤR.C.をスポンサーとする孤児院経営の資金援助要請)の実情を視察。パタヤR.C.例会にも出席し、交友を深めた。

地区内美術館めぐり



百花文耳付大壺 (七宝焼) 明治後期

濃い紫地に肩から胴にかけて藤の花が一面に下がり、腰部からは胴部に向けて四季の草花が立ち上がっている。百花繚乱とし、紫黒の暗に鳥が飛び交う様は怪しく美しい。安藤重兵衛の作(名古屋市博物館蔵：名古屋市瑞穂区瑞穂通1-27) ●この地方の主要美術館：名古屋市豊清二公顕彰館、小牧市歴史館ほか)

米山奨学会特別寄付報告

Contribution to Yoneyama Memorial Fund

7月1日 岡崎東R.C. 1名	30,000円
岡崎東R.C.	9,595円
東知多R.C.	10,836円
7月 後藤幸彦君(瀬戸北) 米山功労者	300,000円
丸 子R.C. 1名	150,000円
8日 黒田文一君(碧南) 米山功労者	300,000円
10日 一 宮R.C. 1名	30,000円
岡崎南R.C. 4名	90,000円
12日 西 尾R.C. 17名	340,000円
佐 久R.C. 2名	150,000円
18日 小 牧R.C. 1名	100,000円
19日 名古屋南R.C. 1名	60,000円
23日 常 滑R.C. 1名	60,000円
29日 名古屋北R.C.	120,000円
岡 崎R.C. 3名	90,000円
31日 谷沢光治君(名古屋東) 米山功労者	60,000円

訃 報 Obituary

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

8月16日 黒 田 真 一 殿(高浜名会員)
8月20日 岡 田 善 雄 殿(飯田南)
8月31日 伊 藤 俊 郎 殿(豊 田)
9月6日 谷 信 一 殿(名古屋)

昭和55年 8 月 度 分 区 別 会 員 数 及 び 出 席 率

Attendance Report of August 1980

昭和55年 8 月 最 終 例 会 日 現 在

分 区	ク ラ ブ 名	順 位	会 員 数	出 席 率	例 会 数	前 会 員 月 数	増 減
尾 張 第 一 分 区	半 田	50	59	94.61	4	59	0
	半 田	27	30	96.67	4	30	0
	東 知 多	78	46	90.66	5	46	0
	名 古 屋	77	217	90.88	4	216	+ 1
	名 古 屋	4	95	99.15	4	94	+ 1
	名 古 屋	47	104	94.79	5	104	0
	名 古 屋	57	45	93.89	4	45	0
	名 古 屋	60	116	93.74	4	115	+ 1
	名 古 屋	62	111	93.52	5	110	+ 1
	名 古 屋	7	48	98.96	4	48	0
	名 古 屋	45	75	94.87	5	76	- 1
	名 古 屋	25	94	96.95	4	93	+ 1
	名 古 屋	72	137	92.30	4	136	+ 1
	名 古 屋	67	84	92.56	4	84	0
	名 古 屋	75	69	91.31	4	69	0
	東 海	82	48	89.58	4	48	0
	常 滑	12	58	98.25	5	58	0
	17 C		1,436	94.28		1,431	+ 5
尾 張 第 二 分 区	あ ま	34	72	96.13	4	72	0
	尾 西	24	50	97.00	4	49	+ 1
	一 宮	65	88	92.82	5	88	0
	一 宮	30	74	96.57	5	73	+ 1
	稲 沢	81	54	89.82	4	54	0
	大 山	22	73	97.42	4	73	0
	岩 倉	19	32	97.63	4	32	0
	春 井	29	78	96.66	5	79	- 1
	小 牧	79	58	90.51	4	58	0
	江 南	64	63	92.86	4	61	+ 2
	名 古 屋	58	64	93.75	4	63	+ 1
	西 春	14	70	98.19	4	71	- 1
	尾 張	26	44	96.82	5	44	0
	瀬 戸	33	69	96.38	4	70	- 1
	瀬 戸	13	42	98.21	4	42	0
	津 島	3	70	99.16	4	69	+ 1
	16 C		1,001	95.62		998	+ 3
三 河 第 一 分 区	渥 美	74	45	91.66	4	45	0
	蒲 郡	40	67	95.60	5	67	0
	奥 三	16	46	97.83	5	46	0
	新 河	10	44	98.64	5	44	0
	田 城	69	61	92.34	5	61	0
	豊 原	35	109	96.04	4	109	0
	豊 橋	18	101	97.68	4	99	+ 2
	豊 橋	63	65	93.46	4	65	0
	豊 南	48	71	94.78	4	71	0
	9 C		609	95.34		607	+ 2
三 河 第 二 分 区	安 城	23	67	97.31	5	67	0
	碧 南	52	68	94.49	4	66	+ 2
	一 色	55	54	94.41	4	53	+ 1
	刈 谷	44	79	95.26	4	80	- 1
	西 尾	66	70	92.58	4	70	0
	岡 崎	46	84	94.84	4	84	0
	岡 崎	51	58	94.56	4	57	+ 1
	岡 崎	30	72	96.57	5	72	0
	高 浜	38	48	95.81	4	47	+ 1
	豊 田	54	90	94.42	4	87	+ 3
	豊 田	36	44	96.02	4	44	0
	豊 田	43	65	95.39	4	65	0
	12 C		799	95.14		792	+ 7

分 区	ク ラ ブ 名	順 位	会 員 数	出 席 率	例 会 数	前 会 員 月 数	増 減
東 北 信 分 区	軽 井 沢	1	38	100.00	4	38	0
	小 丸 諸	27	60	96.67	5	60	0
	丸 子	80	36	90.27	4	37	- 1
	南 佐 久	58	29	93.75	4	30	- 1
	長 野	20	83	97.59	4	83	0
	長 野	52	72	94.49	4	72	0
	中 野	16	46	97.83	4	46	0
	佐 久	76	40	91.06	4	37	+ 3
	須 坂	73	35	91.78	5	35	0
	戸 倉	41	40	95.50	5	40	0
	上 田	42	51	95.45	4	51	0
	上 田	11	44	98.29	4	44	0
	12 C		574	95.22		573	+ 1
南 信 第 一 分 区	富 士 見	83	30	89.17	4	30	0
	白 馬	56	38	94.08	4	38	0
	木 曾	84	48	87.45	4	48	0
	松 本	70	73	92.33	4	73	0
	松 本	6	80	98.98	4	80	0
	松 本	37	42	95.84	4	42	0
	岡 南	32	64	96.49	4	63	+ 1
	大 町	68	63	92.46	4	63	0
	塩 尻	8	37	98.91	5	37	0
	諏 訪	49	61	94.75	5	60	+ 1
	10 C		536	94.05		534	+ 2
南 信 第 二 分 区	飯 田	9	70	98.90	4	76	- 6
	飯 田	15	69	97.94	5	70	- 1
	飯 島	21	35	97.58	4	35	0
	伊 那	39	73	95.77	4	73	0
	駒 根	5	54	99.08	4	61	- 7
	松 川	61	44	93.60	4	43	+ 1
	箕 輪	71	29	92.32	5	29	0
	箕 輪	1	46	100.00	4	48	- 2
	8 C		420	96.90		435	- 15
総 計	84 クラブ		5,375	95.13		5,370	+ 5

当 8 月 度 より 会 員 数 ・ 出 席 率 と も 最 終 例 会 日 現 在 の 報 告 と な っ た た め 、 出 席 率 が 従 来 と 比 較 し 低 率 と な っ た 。

Information おしらせ

○ 国 際 写 真 コ ン テ ス ト

「ザ・ロータリアン」誌では、創刊70周年を記念して、1980年10月から1981年 9 月にかけて、“ロータリーのイメージ”をテーマとする国際写真コンテストを行う。

世界各地のクラブの写真愛好家による日頃のロータリー活動をとらえた写真を募集、優秀作品には多くの賞が授与される。詳細は「ザ・ロータリアン」誌及び「R.I. ニュース」の10月号にて発表される。

○ 次 号 が バ ナ ー 月 信 (第 5 信 ・ 10 月 15 日 付)

地区年次大会特集のため、発送が若干遅れます。

ご了承ください。